

KOTOBA
N O
U M I

ことばのうみ

宮城県図書館だより

MIYAGI PREFECTURAL LIBRARY No. 37 2011.8

特集

3月11日東日本大震災発生から
5月13日宮城県図書館再開までの道のり東日本大震災に
関する新聞

(寄贈いただいたもの)

・中日新聞社ご寄贈3月14日朝刊
・静岡新聞社ご寄贈3月12日朝刊
・山口新聞社ご寄贈3月14日朝刊
・山陽新聞社ご寄贈3月12日朝刊
・南日本新聞社ご寄贈3月13日朝刊
・愛媛新聞社ご寄贈3月13日朝刊
・新潟日報社ご寄贈3月11日号外



みやぎ夢大使としても活躍されているサンドウィッチマンのお二人から、本に対する想いや思い出についてご寄稿いただきました。

● サンドウィッチマン【伊達みきお】

基本的に、読書は好きですね。

想像力を働かせてくれるし、漫画も好きですが活字の本もよく読みます。

仕事上、タレントさんが書いた本を読む機会が今は多いですね。図書館にも何度か行つて勉強したりしました。夏は涼しくて静かで最高に良い環境でした。

最近では、活字離れとか言われていますが、将来必ず役に立つので本は沢山読んだ方がいいですね。

まずは好きな著者を探すのがいいですよ。

● サンドウィッチマン【富澤たけし】

中学生の頃は中原中也さんの重く、暗い詩集が好きでよく読んでいました。

『サーカス』という詩の中で、空中ブランコの音を『ゆあーん ゆよーん、ゆやゆよん』と表現していたのが衝撃的でした。

そもそも空中ブランコから音など聞こえないのに、この表現を当て嵌めてみるとしつくり来るのが不思議でした。

最初の相手とコンビを組んだ時に、他とかぶらないコンビ名がいいだろうと思つてつけたのがこの『ゆやゆよん』でした。

ただ、言いづらい、覚えづらい、名前の由来を聞かれるとめんどくさいという3拍子が揃っていたのでコンビ名には向いていなかったと思います。

芸人さんから頂く本や、気になる本などが手元に沢山ありますが、なかなか今は読む時間がなくてたまつてしまい、巨大な山となり部屋をうめつくしています。

読ませて頂いた中では、アンジャッシュ渡部さんの『エスケープ』、インパルス板倉くんの『トリガー』が面白いので、ぜひ読んでみて下さい。

